

ミニフォト

どんな生き物がいるかな



水中の生き物を探す子ども

楨谷川の中の生物を採取し、「川の健康診断」を体験する水辺の教室が7月31日、楨谷川で行われました。参加した親子連れら27人は、サワガニやカワゲラなどの水生生物を集計し、川の状態を「きれいな水」と判定していました。

湿地に優雅な花が咲く



直径3cmほどの白く小さな花

ヒイゴ池湿地に自生するサギソウが7月下旬に開花。環境省が準絶滅危惧種に指定しているサギソウは、花卉が翼を広げたシラサギに似た姿をしています。小さいながらも優雅な姿を、湿地を訪れた人に見せていました。

埋蔵文化財を調査



さまざまな小道具で遺跡を掘る

校舎の建て替えを控えている総社小学校の校庭で、夏休み期間中に地中の埋蔵文化財（遺跡）発掘調査が実施されました。調査員は地表を丁寧に削って、土の色や質の違いを見極め、昔の生活痕跡を探っていました。

親子で体験活動を満喫



炭火でアユをしっとり焼く

高間やまびこまつりが7月17日、高間キャンプ場で開催。親子連れら約300人が参加しました。パンやアユを焼いて食べたり、木工や草木染めをしたりと、大人も子どもも自然の中での体験活動を満喫していました。

ベストを尽くして泳ぎきる



力強い泳ぎを見せる選手

市スポーツセンタープールで7月27日、学童水泳記録会が開催されました。記録会には、市内の全小学校から標準記録に達した332人の児童が参加。自由形や平泳ぎ、リレーの各種目で、ベストを尽くすタイムを競っていました。

思いを込めて声で表現



練習の成果を發揮する

ことばの力を高め、文学作品に親しむことなどを目的に、8月7日に市図書館でそうじゃ音読大会が行われました。小学校1年生から6年生までの30人が参加し、自分で選んだ話の好きな部分を思いを込めて音読していました。

野崎さん 100歳おめでとう



家族に祝福される野崎さん

野崎操さん（新本）が7月10日に満100歳の誕生日を迎えられ、16日に市から記念品が贈られました。近所の友人と話すことが好きだったという野崎さん。長寿の秘訣は正しく生きること、運動をよくすることだそうです。

自分の将来を見据えて



真剣に事業所の情報を集める

新規大卒者等就職面接会が8月2日、総合福祉センターで行われました。職業相談や個別面接が行われ、総社市で働くことを希望する学生ら23人が参加。参加者は自分の将来を考え、真剣に事業所の話を聞いていました。

魅せる黒白の美



日展受賞作品を解説する高木さん

「高木聖雨書展～魅せる黒白の美～」が総社吉備路文化館で開催中です。総社市出身の漢字書家高木聖雨さんの作品展で、日展文部科学大臣賞受賞作品などを含む25点を展示しています。会期は9月25日(日)まで。



1100人を超える参加者による総おどり



来場者でにぎわう会場



ええとこ囃し踊りコンテスト



約2500発が打ち上げられた、フィナーレの花火



ダンスチームの発表



ステージでの空手の演武



備中温羅太鼓の演奏

カメラ フォトニュース まちの話題

そうじゃの夏の思い出

総社市民まつり 雪舟フェスタ

総社市民まつり「雪舟フェスタ」が8月6日に高梁川河川敷で開催されました。42回目を迎えた今回は約4万人が会場を訪れ、思い思いに総社の夏を満喫していました。

いざという時に備えて



外国語版ハザードマップを確認

総社中学校区の地域コミュニティ協議会と市が連携した防災訓練が7月30日、総社中学校で開催。外国人と地域住民ら135人が参加し、外国語版ハザードマップの説明や地震体験、煙体験などを通じて防災意識を高めていました。

静寂のなか精神統一を図る



姿勢を整え、心を静める

8月1日から5日にかけて井山宝福寺で暁天座禅が行われ、期間中に約250人が参加。住職の打つ警策の音とセミの声だけが響く早朝の厳粛な雰囲気の中、方丈から庭園を望んで座禅を組み、精神統一を図っていました。

雪舟さんに思いをはせる



それぞれの思う言葉を書で表現

雪舟体験学習が8月4日、井山宝福寺で行われ、市内の小学生30人が参加しました。参加者は講話やお茶の作法、座禅、指筆を使っての書などの体験を通じて雪舟さんについて学び、地元出身の偉人に思いをはせていました。